

2022年度 心の医療センター駒ヶ根 認知症疾患医療センター研修会

不安
暴力

妄想

抑うつ

今年のテーマは 脱 BPSD !

徘徊

興奮攻撃

昼夜逆転

行動・心理症状（BPSD）は、ご本人の生活の質を低下させ、介護の負担を大きくします。認知症の人とご家族が、住み慣れた地域で、その人らしく暮らしていただくためには、BPSDを減らすことが大きな鍵となります。

BPSDの治療法・対処法の開発研究に携わっておられる数井先生から、研究の最先端の話題や「認知症ちえのわNet」の取り組み等について、ご講演いただきます。

WEB開催
8月26日(金)
15:00～17:00
定員：250名
締切：8月12日(金)

症例報告

- 事例1 特別養護老人ホームで、激しいBPSD症状が出現した99歳女性の終末期対応の実践報告
- 事例2 介護支援利用に強い抵抗を示した81歳のアルツハイマー型認知症の男性を支える地域ネットワークの報告

講演

BPSDを最小限にするために
私達（支援者）ができること

高知大学 医学部

神経精神科学講座教授 数井裕光 先生

お申込み

長野県立心の医療センター駒ヶ根 認知症疾患医療センター
研修会参加希望の方は QRコードよりお申し込みください

☎0265-98-0766（直通）83-3181（代表）

✉ koma-ninchisho-k@pref-nagano-hosp.jp



講師紹介

數井 裕光 (かずいひろあき) 先生 出生地：兵庫県神戸市

高知大学医学部神経精神科学講座教授 ・ 大阪大学大学院医学系研究科精神医学分野招聘教授
日本老年精神医学会 ・ 日本認知症学会 ・ 日本神経心理学会 ・ 日本高次脳機能障害学会 理事
日本正常圧水頭症学会 副理事長
日本正常圧水頭症学会 ・ 日本精神科救急学会 ・ 日本老年精神医学会等の大会長を歴任

【専門と班研究】

老年精神医学、神経心理学、高次脳機能障害学。主な研究テーマは認知症疾患の症候学的・神経画像学的研究。認知症診療ガイドライン 2017、特発性正常圧水頭症の診療ガイドラインの作成、医師主導多施設共同研究 SINPHONI プロトコル作成委員、SINPHONI-2 内科系副主任研究者として活動。4大認知症において様々な行動・心理症状の頻度を調べた我が国の多施設共同研究 J-BIRD の主任研究者としても活動し、さらに現在は、認知症者の様々な行動・心理症状に対する様々な対応法の奏効確率を ICT を活用して明らかにし、公開するための「認知症ちえのわ net」研究の主任研究者として活動。2021 年度からは AMED「血液バイオマーカーと神経画像検査による BPSD の生物学的基盤の解明、および認知症者の層別化に基づいた BPSD ケア・介入手法の開発研究」を主任研究者として開始。厚生労働省科学研究費補助金事業研究班・日本医療研究開発機構（AMED）研究班班長として活躍されている。

認知症ちえのわ net とは

認知症の人の BPSD 等に対する対応法や声かけ法の有効性について、インターネットを活用した大規模な調査研究事業です。単発的な調査でなく、継続的に調査し続け、情報発信するという新しいスタイルの調査研究です。支援者や家族の方々に BPSD の対応法を試して頂き、反応をネットに情報としてあげて頂きます。個々に違う認知症の人の症状に対して有効な対応法を見つけるまでには、試行錯誤の繰り返しです。この試行錯誤の情報こそが、今後、よりよい対応法を見つけるために役に立つと思っています。寄せられた情報は専用コンピュータに記録され解析されます。そして妄想、怒りっぽさ、不安などの BPSD やその他のいくつかの症状ごとに、有用な対応法を定期的に情報配信しています。 <https://chienowa-net.com/greeting>

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 認知症疾患医療センター

平成 28 年から「もの忘れ外来」を開始

令和 2 年に上伊那圏域の認知症疾患医療センターの指定を受ける



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立 こころの医療センター駒ヶ根

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平 2901

電話 0265-83-3181 FAX 83-6160